

12月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質疑の様子をご覧いただけます。



本市の学校給食について

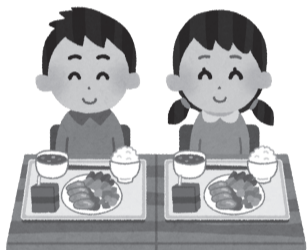


太田クラブ 大川 敬道

議員 学校給食費助成事業の対象および助成金額について伺います。
 教育部長 助成対象は、太田市に住民登録があり、元来、本市で給食を提供していない学校に通う児童生徒の保護者で、助成金額は、小学校4万5千円、中学校5万5千円です。
 議員 助成方法について伺います。
 教育部長 令和4年度までは太田市金券で助成していましたが、今年度よりデジタル金券OTACOで助成を行う予定です。
 議員 助成金額の基準を伺います。
 教育部長 市立小中学校の給食費である、小学校4万8,400円、中学校5

万8,300円を目安としています。
 議員 助成金額の基準となる給食費と助成金額を比較すると、3千円程度の差がありますが、公正公平の観点から所見を伺います。
 教育部長 子育て支援の観点から助成を行うものであり、適切な支援ができています。
 議員 助成金額の増額について、所見を伺います。
 教育部長 あくまで給食費を目安とした助成金であり、現行の金額での運用を考えています。
 議員 市立太田中学校は学校給食がなく、毎朝弁当を作るために、自宅の光熱水費もかかることになりませんが、助成金額について、公正公平の観点から市長の所見を伺います。
 市長 助成金であり、全額を補填するものではありませんので、適切に助成できていると考えます。

- その他の質問
- ・本市の人事管理について



市販薬の過剰摂取から青少年を守るための取り組みについて



公明党 前田 純也

議員 本市における、薬の過剰摂取によると見られる18歳未満の青少年の救急搬送者数について伺います。
 消防長 令和2年4人、3年7人、4年7人、5年は10月末現在で5人となっています。
 議員 その内、市販薬の過剰摂取が原因と思われる人数について伺います。
 消防長 確認が取れない例もありますが、半数程度が市販薬によるものです。
 議員 学校で実施している薬物乱用防止教室の内容について伺います。
 教育部長 小学校では、喫煙、飲酒の害や誘われたときの断り方などについて、中学校では、大麻、覚醒剤、合成麻薬などの薬物や、薬物が含まれるグミやクッキーなどの危険性を扱っています。市販薬の過剰摂取を扱う学校はまだ少ない状況です。
 議員 保護者や地域の方々にも市販薬物乱用の危険性を理解していただき、子どもたちを守る取り組みを進めべきと考えますが、教育長の所見を

伺います。
 教育長 薬物乱用教室でのオーバードーズの取り扱いの決定や保護者の参加、学校ホームページでの注意喚起を行うとともに、学校だよりを介して地域への周知を行っていきたいと考えます。
 議員 幅広い市民を対象とした研修会について、市長の所見を伺います。
 市長 特に若い人たちへの教育が重要だと思います。高校生に対して、この問題の深刻さと重要性を話す機会を作ることが大切だと考えますので、できるだけ早く行動を起こしたいと思います。



- その他の質問
- ・本市における認知症対策への取り組みについて



公益通報窓口について



太田クラブ 山水 めぐみ

議員 公益通報者保護制度の内容について伺います。
 企画部長 労働者が公益のために通報したことを理由に、不利益な取り扱いを受けないよう制度化したものです。
 議員 内部、外部公益通報の対象範囲と周知方法について伺います。
 企画部長 内部公益通報の対象者は、会計年度任用職員を含む本市職員です。外部公益通報の対象者は、指定管理業者や委託業者などとなります。内部の職員に対しては、グループウェアへの掲載および職員研修で周知を図っていますが、外部公益通報の対象者への周知などはしていないため、早急にホームページに掲載するなど周知徹底を図っていきたく考えます。
 議員 公益通報の窓口となるコンプライアンス推進室の組織体制や人員確保について、所見を伺います。
 企画部長 組織体制や人員増については、相談実績を鑑み、早急に対応が

必要な状況ではないと考えます。また通報者保護の観点から、人員増を含む組織体制の在り方については、慎重に検討を進めるべきであると考えます。
 議員 相談しやすい環境を整備し、真面目に働いている人が損をしない社会づくりを目指してほしいと考えますが、公益通報について、市長の所見を伺います。
 市長 組織にとって、ハラスメントはマイナスしかなく、通報窓口は大事にしていかなければならないと強く思います。内部では相談しづらい場合もありますので、外部の窓口を積極的に活用できるように、周知を図りたいと考えます。



- その他の質問
- ・学校給食について



公共施設のオンライン予約化について



創政クラブ 松川 翼

議員 公共施設の予約システムを一元化することで、利便性の向上につながると考えますが、所見を伺います。
 企画部長 公共施設の予約は、抽選方式や先着順など複数の形態があり、一部施設ではすでに予約システムが導入されていることから、同一システム上での一元化は困難であると考えます。ホームページ上に既存の予約システムや、空き状況確認の総合的なリンク窓を設けることも有効な方法であると考えますので、早急に取り組んでいきたく思います。
 議員 公共施設の予約をオンラインで一元化できれば、利便性と事務効率の向上が図られ、利用者や自治体の双方にメリットがあると考えますが、市長の所見を伺います。
 市長 各部局において、空き状況の確認や貸し出し方法など、どこまで一元化できるのか検討していきたく思います。
 議員 市のホームページで空き状

況を確認する場合、各施設で掲載場所が異なり、探すのに大変苦労する状況です。すぐにシステムを一元化することは困難だと思いますが、まずはホームページ上に貸館の入り口を作り、空き状況のリンクを集約することが必要だと考えますが、市長の所見を伺います。
 市長 これは非常に大事なことだと思います。全ての空き状況を一括して管理でき、市民に周知できるようなシステムを入れた方がいいと考えますので、できるだけ早く実現できるようにしていきたく思います。

- その他の質問
- ・今後の国際交流都市、姉妹都市、友好都市について

